

目 次

改訂にあたって	1
1. 犯罪被害者等の抱えるさまざまな問題	2
(1) 犯罪被害者等の置かれた状況	2
①直接的被害	2
②事件後に直面する状況	4
(2) 具体的に困難な状況	5
①心身の不調	5
②生活上の問題	8
③周囲の人の言動による傷つき	9
④ネット上やSNSによる誹謗中傷等	10
⑤加害者からの更なる被害	10
⑥捜査、裁判に伴うさまざまな問題（負担）	10
参 考 捜査、裁判の流れ	11
2. 支援に携わる際の留意事項	15
(1) 犯罪被害者等に対応する際の基本的な留意事項	15
●基本的な支援対応の流れ	15
①信頼関係を築く	15
②ニーズを把握する	16
③援助計画を立てる	18
《具体的な対応にみる留意点》	19
《具体的な対応に関するロールプレイ》	22
《支援者自身のケア》	23
(2) 被害類型別特徴と対応上の留意点	24
【殺人等遺族への対応】	24
【暴力犯罪等により傷害（障害）を負った人への対応】	27
【交通事故に遭った人への対応】	30
【性犯罪に遭った人への対応】	32
【配偶者からの暴力を受けた人への対応】	35
【ストーカー被害に遭った人への対応】	38
【虐待された子どもへの対応】	40
【虐待された高齢者への対応】	43

3. さまざまなニーズに対応するための関係機関・団体の連携	46
(1) 関係機関・団体の連携の必要性	46
(2) 関係機関・団体の連携の実際	47
①基本的な連携の流れ	47
②連携の際の留意点	50
4. 各機関・団体における支援業務	51
【別表】 支援の流れ	

(資料編)

1 「犯罪被害申告票」の書式	143
2 関係機関・団体へ伝達すべき犯罪被害者等支援に関する情報に係る様式	144
3 被害者の状況把握シート	145
4 相談窓口一覧	150
5 関係機関・団体一覧	164

〈引用及び参考資料〉

- ・「犯罪被害者支援ハンドブック・モデル案」内閣府犯罪被害者等施策推進室
(平成20年12月)
- ・「平成26年度犯罪被害類型別調査」内閣府犯罪被害者等施策推進室
- ・「平成29年度犯罪被害類型別調査」警察庁犯罪被害者等施策担当参事官室
- ・「犯罪被害者遺族の心理と支援に関する研究」大和田攝子(2003年 風間書房出版)

※各機関・団体における支援業務等については、平成31年1月31日現在で掲載していますが、組織・制度改正により、変更される場合があります。